



14

A

旅への思い

芭蕉と『おくのほそ道』(2)

氏 名

組

番

得 点

50

1

次の——線部の片仮名を漢字に直し、漢字は読み仮名を書きなさい。

- (1) 危険をオカす。
- (2) キンキ地方の地形を調べる。
- (3) 物語がカキヨウを迎える。
- (4) 順番をユズってもらった。
- (5) 保険に勧誘する。
- (6) 仕事が滞る。
- (7) 隣家とは生け垣で隔てられている。
- (8) お客様にお菓子をお勧めする。

(各2点×8)

(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)

2

次の——線部の古語の意味として最も適切なものをあとから選び、記号で答えなさい。

- (1) 一里こなたにあり。
- ア 遠方。 イ 離れた場所。
- ウ 広さ。 エ 手前。
- (2) 兵どもが夢の跡
- ア 英雄。 イ 武士。
- ウ 若者。 エ 民衆。
- (3) 心澄みゆくのみおぼゆ。
- ア 思い出す。 イ 感じる。
- ウ 記憶する。 エ 気に入る。

(各6点×3)

(3)	(2)	(1)

3

次の——線部の語句の読み方を、現代仮名遣いの平仮名で書きなさい。

- (1) まづ高館に登れば……
- (2) 立石寺といふ山寺あり。
- (3) 尾花沢よりとつて返し……
- (4) 岩に巖を重ねて山とし……

(各4点×4)

(4)	(3)	(2)	(1)

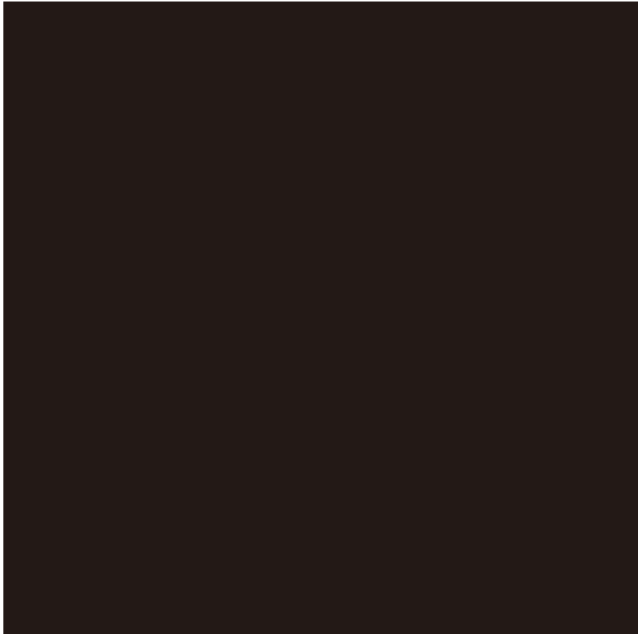


旅への思い

芭蕉と『おくのほそ道』(2)

氏 名 組 番 得 点

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。



問一 — 線①「三代の栄耀一睡のうちにして」と同じことを表している部分を文中から書き抜きなさい。(5点)

--

問二 — 線②「国破れて……草青みたり」は、ある漢詩がもとになっていますが、それは誰の詩ですか。次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 孟浩然 もうこうねん イ 杜甫 とほ
ウ 陶淵明 とうえんめい エ 李白 りはく

--

問三 — 線③「涙を落とし」たのは誰ですか。次のうちから選び、記号で答えなさい。(6点)

- ア 秀衡 イ 泰衡
ウ 義臣 エ 作者

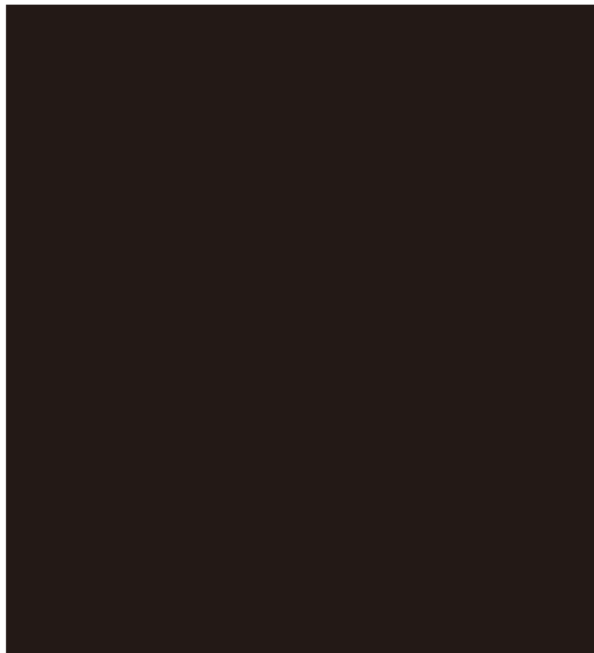
--

問四 この文章で描かれていることを次のうちから選び、記号で答えなさい。(7点)

- ア 人の世の悠久さと自然のはかなさ。
イ 自然の悠久さと人の世のはかなさ。
ウ 自然と人の世の悠久さ。
エ 自然と人の世のはかなさ。

--

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。



問一 — 線①「人々の勧むるによつて」とありますが、どんなことを勧められたのですか。(6点)

--

問二 — 線②「その間」とは、どこと、どことの間ですか。次のうちから選び、記号で答えなさい。(6点)

- ア 尾花沢と立石寺との間。
イ 立石寺と山形領との間。
ウ 尾花沢とふもとの坊との間。
エ 立石寺とふもとの坊との間。

--

問三 — 線③「寂寞」とありますが、これと同じような意味で、立石寺について表現している言葉を、文中から二字で書き抜きなさい。(6点)

--	--

問四 立石寺を訪れた作者はどのような心境になりましたか。それがわかる言葉を文中から十字で書き抜きなさい。(8点)
